

令和7年6月25日(水)

健康文化センター1階 機能回復訓練室

13時30分～15時00分

発言者	内容
事務局	定刻になりましたので、只今から令和7年度第1回大口町健康づくり推進協議会を始めさせていただきます。 本日は大変お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。 次第に基づき、会議を始めさせていただきます。会議の開催にあたりまして、健康福祉部長よりご挨拶を申し上げます。
健康福祉部 部長	ご出席いただきありがとうございます。今年度健康おおぐち21第三次計画ができあがりしました。計画の期間は今年度から12年間です。12年後、干支がちょうどひとまわりしたところで私はその頃まで元気でいられるのかなぁと思いながら、この計画を手にとっておりますが、そうはいつでも「人生100年」と言われる時代。100歳までにはまだ少し年月があります。この第三次計画におきましては、ライフステージごとの健康づくりを通じ、それが生涯の健康につながるという視点に立ち、自然に健康でいられるまちづくりを目指して、大目標「健康で笑顔の大口ずっと元気みんな幸せ」を掲げて健康づくりを推進してまいります。この計画の推進につきましては地域の皆様のご協力、委員皆様のご支援、ご助言が欠かせません。ぜひ三次計画の推進にご協力いただくことをお願い申し上げ、本日のごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。
事務局	この大口町健康づくり推進協議会は、地域住民への保健衛生に関する知識、情報の提供と疾病予防及び体力向上等をめざすための活動を実践し、これを通じて健康あふれる家庭と地域づくり・まちづくりを推進するために設置しており、大口町健康づくり推進協議会設置要綱 第4条に基づき、それぞれの立場の皆さんに本協議会の委員にご承諾をいただき、就任をいただいております。 本来であれば、町長から委嘱状を交付させていただくものではありますが、本日はお手元にお配りをさせていただいております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。 また、委嘱の期間につきましては、協議会設置要綱 第5条に基づき、任期2年として令和9年3月31日までとなりますので、併せてよろしくお願いいたします。 なお、会議の欠席の報告を、委員さん2名よりいただいておりますことをご報告します。 それでは、令和7年度から新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、自己紹介をお願いしたいと思います。名簿順で、江南保健所代表から順にお願いいたします。(各委員の自己紹介) この協議会は、委員長・副委員長の選出が必要となります。 委員長・副委員長は、協議会設置要綱、第6条第2項の規定により、委員の互選により選出することとなっております。 選任について、いかがいたしましょうか。
委員	若杉委員はいかがでしょう。21計画の策定にも携わっていただきましたので。

事務局	ただいま、若杉委員を委員長に推薦するご発言がありました。他に、ご意見が無ければ、委員の総意として、若杉委員を委員長に決定したいと思います、ご異議はございませんか。
各委員	異議なし
事務局	ご異議なしと認め、若杉委員を委員長に決定いたします。 それでは、若杉委員長様、委員長席に移動していただき、就任のご挨拶をお願いいたします。
委員長	大口町のとの関わりは25年になり、ふるさとに近いくらい大口町に足を運んできたなというのと、今年の7月から学生実習でもお世話になるので、住んではいいのですが愛着のあるまちで、共に歩かせていただけることをうれしく思いますので、よろしくお願いします。
事務局	ありがとうございました。 次に、副委員長を選任してまいりたいと思います。 選任について、いかがいたしましょうか。 (発言なし)
事務局	特に、ご発言も無いようですので、副委員長の選任は、委員長一任でいかがでしょうか。
委員	異議なし
事務局	ご異議も無いようですので、委員長一任で決定いたします。 それでは委員長、副委員長の指名をお願いします。
委員長	囑託医でいらっしゃる鈴木委員にお願いしたいと思います。
事務局	鈴木委員様、副委員長席に移動していただき、就任のご挨拶をお願いいたします。
副委員長	本当に申し訳ないのですが、別の会議があり途中退席します。開業して31年、高齢者の人口が増えてきたと思います。80、90歳超えても元気な方もいれば、随分弱られた方もいます。今後のことも考えてこの協議会でいろいろ検討していただければと思います。
事務局	ありがとうございました。 それでは、会議に入ります前に、本日の資料の確認をさせていただきます。 資料に不足がございましたら、事務局までお申し出ください。 これよりの議事進行は、大口町健康づくり推進協議会設置要綱、第6条第3項の規定により、若杉委員長に議長をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
委員長	それでは、会議次第に沿って、議事を進めます。 議題（1）令和6年度及び令和7年度の大口町の保健活動について、事務局より説明をお願いします。
事務局	議題（1）令和6年度及び令和7年度の大口町保健活動について説明
委員長	事務局の説明が終わりました。 ご質問、ご意見などございましたら、ご発言願います。
委員	(質問等なし)
委員長	特に無いようですので、続きまして、議題（2）健康おおぐち21第三次計画

	について、説明をお願いします。
事務局	議題（２）健康おおぐち 21 第三次計画について説明
委員長	事務局の説明が終わりました。 ご質問、ご意見などございましたら、ご発言願います。
委員 (住民団 体)	概要版、すごくいいなと思いました。12 年使うのであれば外国の方が増えていて、1000 人くらいの人口がいるので、多言語化できないにしても、易しい日本語だったり指差しチェックがあったり、どんな方でもわかるようなものにしていただけると、いろいろな場面で使えるのかなと思いました。
事務局	種まき活動 12 年。健康づくりは種まき活動で、育てて花が咲くのが 10 年くらいかかると言われていて、この計画も 12 年ですが、確かに外国籍の方が増えていて、いろんなところで一緒に生活していて、外国籍の方たちとのやりとりは増えているので、これを多言語化する際には、是非ご協力をお願いします。
委員長	次に議題（３）健康おおぐち 21 第三次計画の推進について、説明をお願いします。
事務局	議題（３）健康おおぐち 21 第三次計画の推進について説明
委員長	これからの健康づくり、第三次計画を推進していくにあたり大口町役場と地域、地域と団体、団体同士等いろんなコラボも含めて、楽しみながら健康づくりという言葉も出ていましたので、ご自分の団体としてどうしていきたいか一言ずついただきたく思います。
委員 (江南保健 所)	江南保健所としましては、健康日本 21 あいち計画を推進していく立場です。概要版のライフコースアプローチがとても見やすくわかりやすいと思いました。その中で保健所としてなにができるのかなと考えたところですが、たとえばこころの健康・休養のところで、困ったときの相談先として保健所が受けさせていただきます。たばこ対策も、最近は喫煙できる場所が減ってきて、吸える場所の許可証を保健所が出していたりしますので、たばこ対策の役割を担えるのかなと思いました。また歯科保健、栄養につきましては、保健所におります専門職が市町の方と一緒に取り組んで進めておりますので、そのあたりでも頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。
委員 (勤労者の 健康づくり にかかわる 団体)	協会けんぽでも健診や保健指導を進めています。健康おおぐち 21 の第三次計画の目指す姿と似ている部分がたくさんあると思います。LINE やホームページでの啓発、広報という部分で大口町と協力できる部分があるのではないかと思います。
委員 (識見を有 する者)	4 月からトレセンに常駐し、運動する方を近くで見っていますが、来ている人は意識が高い方が多いです。6 月上旬に INBODY を 1 週間お試しで置いたら、予想以上に多くの人が計ってくれたりして、意識が高いと思いました。ミネラル等の栄養面にも興味示されていたので、その辺りにもアプローチできたらと思っています。第三次計画 90 ページにもありますが、平日遅くまで働く父母、家庭が多くて平日習い事ができない子どもも多く、習い事格差も起きていると感じていますので、ここも進めていきたいです。
委員 (住民団 体)	バスのマイ時刻表、外出支援、バスサポート事業やらせていただいているが、好評です。バス使いたいけど時刻表の見方がわからないとか、ネットで簡単に見

体)	られるようになってはいますが年配の方は慣れないしできないという方が多くて、マイ時刻表は好評です。デジタルとアナログ両方支援できたらいいなと思いました。皆様ご参加ください。 また、生活支援コーディネーターで地域に入っているのですが、各地域で見守り活動を進めています。「ながら見守り」という活動を進めていまして、わざわざ見守るのではなく、散歩しながらとか、庭で水やりながらとか、外出する機会あるいは運動する機会プラス見守り活動というものも取り入れていただけるといいし、いろんな視点から自分にもいいけど、地域にもいいということで押しつけがましくなく進めていけるといいなと思うので、地域の皆さんと一緒に進めていければいいと思っています。 今年は、生涯学習講座と一緒にやらせていただくので、生きがいづくり、たとえば生涯学習講座でやったものを地域の教室でやったりして、習うだけでなく自分の学びプラスアルファ幅広く活動する、視線を変えていくみたいな形で関わるといいなと思いました。ほかになにかあれば、ぜひ教えてください。
戸籍保険課長	健康福祉部はこの計画に関わりがあります。専門職が各課に配置されていますので、人数の面で悲観的にならずに、各課の仕事がわかったうえで関わっていきえると思いますので、一緒に関わってやっていきたいと思います。
長寿ふくし課長	計画の目標である健康寿命の延伸というのはまさにそうだなと。高齢化率より認定率ののびがどんどん進んでいて、相談をいただくイコールすぐ認定という状況になってしまうとちょっと遅いのかなと。その前の介護予防というところを皆さんと一緒に取り組ませていただけるといいなと。介護予防、健康づくりというところを皆さんのお力を借りてやっていきたいと思っています。 少しコマーシャルですが、資料2-1で、いきいきシニアライフさくら通信、最新のものですが、地域包括支援センター、戸籍保険課、健康課の皆さんと一緒に発行させていただいているもので、どちらかというと高齢者向けの予防策で、今回聞こえのセルフチェックとして載せていますが、本町は令和7年度から中等度難聴高齢者補聴器購入費助成事業ということで、高齢者向けのご案内になっていますが、難聴がもたらす影響というのは、若いうちからいつだれに起きても、ということもありますので、本町は65歳以上の高齢者だけではなく、18歳以上の方にも補聴器の助成をはじめました。 コラボの話もありましたので、もう一つ。認知症施策で、「オレンジガーデニングプロジェクト」を始めました。全国的に実施している自治体があります。入口にプランターがあったことに気づかれましたか。オレンジは認知症のシンボルカラーですが、9月の認知症月間に向けて、オレンジの花をまち中に広めることで、認知症の方にやさしいまち、認知症の方を見守るという取り組みで、マリーゴールドを植えています。いろんな方のご協力をいただいて、これもまさにコラボの一つかなと思います。土に触れていただくことでこころの健康であったり、少し体を動かすであったり、花を見るだけでキレイだなと思って心の健康につながればいいなと思っています。ご協力いただける団体さんがあれば、プランターでご用意します。
委員 (尾北歯科)	ライフコースアプローチはすごくいいと思います。ただ成人期へのアプローチ難しく、老年期でトラブルが出てから関係機関に問い合わせるという方が多い

医師会)	と思います。種まきなので、成人になる前の学齢期、仕事をして忙しくなる前にある程度アナウンスしておくのが大事なのではないかと思います。学校の関わりというのは難しいと思いますが、例えば子どもに見やすい資料を配布するとか、イベント時に子どもたち、特に小学校高学年、中学生に向けてアプローチできるように種まきを。まず種をまかないといけない。虫歯も歯周病も治る病気ではないので予防しないといけない。最近歯周病とともに警戒されているのが、睡眠の問題。病名でいうと睡眠時無呼吸症候群。男性は4人に一人、女性は閉経後だと10人に一人という確率で睡眠時無呼吸があると言われています。審査、診断する機会がなかなかない、町内に耳鼻科がないので、健診を町でやるとかするといいいのかなと思います。睡眠についてあまり詳しく書いてなかったなので、その辺が今後起こってくることなのかなと思います。睡眠時無呼吸は生活習慣病や心筋梗塞等のリスクが高くなるし、もちろん交通事故のリスクも高くなりますので、その辺りも含めてやっていけるといいのかなと思いました。
委員 (尾北薬剤師会)	きれいに製本されるとやってきた甲斐があるなと感慨深いものがあります。ライフコースアプローチとからめて考えますと、妊娠授乳サポート薬剤師がいるので、妊娠中・授乳中の服薬のサポートができるとと思いますのでコラボできれば協力さでていただきたいです。こころの問題ですと若い世代のオーバードーズ問題。中学生の教育課程の中で薬育も取り入れられていますので、適切な治療計画は若いころから知識をもっていないと、と思いますし、禁煙についても、保健所さんのほうからありましたが喫煙場所は少なくなって喫煙率も下がっているが、下げどまりになっていますので、適切な禁煙サポート、禁煙パッチ等々の販売や禁煙外来等の周知も引き続きコラボできるといいと思っています。 高齢者のほうでは認知症の初期治療、オレンジリボン・認知症サポーターの育成に関わっていますので、広げて、窓口でおかしいなと思ったら早めに医療につなげたり、行政につなげたり、地域の方と情報交換をしてつなげたりして、今後もしやっていければと思いますのでよろしくお願いします。
委員 (地域自治組織)	自治組織でいろいろやってきました。れんげまつり、ボランティア活動で10年くらいやっています。健康推進そのものではないですがいろんな面で関わっていきたくと思っています。自治組織のほうでも役場の角にオレンジ（マリーゴールド）を植えました。自治組織の活動として。自治組織として4つの花壇を作って植え替えをして活動しています。自治組織として取り入れられるものを取り入れて協力していきたくと思っています。
委員 (高齢者団体)	老人クラブ連合会の視点からお話させていただきますが、お元気な方とそうでない方の差が大きいと思います。先日健康づくり講座をおこないました。95歳の方で背筋がしゃんとしてお元気に素晴らしく体操していただいたのですが、年齢関係なく、お元気な方とそうでない方の差が開いていて、大口町でも2つの区が老人クラブ休会になっています。休会になったところは心配しています。区でどのようにされているのかなと。自分の区とそれから全体を見た中で、区にばらつきがあるということですが、今後そういった人をどう結び付けていったらいいのかなと思っています。私の地元の区でも「ほっこり（サロン）」に大勢の人に来ていただいています。そこでその人の状況が把握しているので、ついこの前までよかったが、急に認知が進んできて心配している方がいるんですね。役をやって

	みえるので、資料もどうしていいかわからない状況のなかで、最初は皆さんが「言ったじゃないか」、「忘れたんか」と言っていたけど、今は怒らないでフォローしていきましょうと言って一生懸命フォローしているんですけども、そういう人（認知症の人）がいやな思いしなくても交わっていけるようにしていきたいなと今思っています。うちだけじゃなくてどんどん広がっていくと思うんですね。さっきコラボという話が出ましたが、老人クラブの中でコラボなんてできるのか？なんて思ったりしている。役をやる人がいなくて老人クラブがなくなっているということなので、人はいるんだけど面倒を見ようかという人がいなくなっている、お元気な人がいないわけではないけど、だんだんさみしい状況になってきていますので、今後どのようにつなげて皆さんが毎日元気に過ごせるか、それが課題として考えています。
委員 (代表健康 推進員連絡 会)	今年の4月から健康推進員になったばかりで、健康推進員として何していいのかわからないのですが、各地区うまくいっているところと、うまくつながりがもてない地区もあるようです。私の地区では何か行事をしようと思っても誰も参加してくれないとか、参加するのに友だちに頼るとか。私も地域にそんなに長く住んでいるわけではないので、地域の人とどうつながるかが自分自身のいちばんの課題になっています。先ほど健康21の冊子の中で、元気を支えるまちづくりの課題を読ませていただいたときに、地域の方のつながりってあるのかなと思ってしまって。私は高齢者とつながることもないですし、同世代とつながることもなく、何年前かに卒業した子ども会のお母さんたちとつながっているくらいなので、地域でお友達づくりは難しいと思っています。地区の様子を見ても、何か行事をやっても「そんなことやるの？」と言われてしまったりして、地域に興味がなくなっているのかなと思っています。先ほど言われましたが、うちの地区でも役をやる人がいないですし。推進員として地区の人をつなげるのは難しいと思うんですけど、行事を通して、みなさんとのつながりをもてる役割を担っていただけませんかと思います。 コミュニティバスは乗りづらくて、時間が合わないから使えないと思うんですが、せっかくあるんだから、健康ウォーキングの帰りはお迎えを呼ぶのではなくてコミュニティバスを使って帰りませんかと提案したいと思います。
こども課長	母子保健から18歳までの子どもたちの事業をおこなっておりますが、この小さなまちでも虐待というものもありまして、なかなか行政だけでは難しいので、地域の皆さんにもいろんな子どもに目を向けていただいて、もし気になることがあれば情報いただければこちらで対応し子どもの健やかな成長に努めていきたいのでよろしくお願いします。
学校教育課長	学齢期の健康教育の大切さはあるのですが、学校というところに関わっているのは、子どもと親もいて、学校にどのようにアプローチしていくか難しい、健康のことに限らずいろんな面で思っています。先生たちの働き方改革もすごく言われているので、今やっけていただいていることにさらに上乘せるのは非常に厳しいなということを思いながら、でも健康に関しては大事なことなので、どういう風にアプローチしていくかは考えていかないといけないなと。難しいところもありますが、皆さんのお力をお借りして進めていきたいと思っています。
委員長	一言ずつありがとうございました。自分の団体の困りごとの部分から、例えば

	保健所さんと薬剤師会さんとコラボのことまで出たかなと思います。これから推進していきますので、繰り返しの言葉になりますが、種まきを続けながら絵になっていくといいかなと思っております。
事務局	ありがとうございました。 第三次計画 12 年ですが、皆さんの 12 年はどのように思い描いていただけましたか。5 年後 10 年後。ご自身の健康から、家族の健康、地域の健康、このまちの健康、ということで、一次計画から住民の皆さんと行政、企業の皆さん等、いろんな人たちとつながりながら、計画の段階からみなさんのお力を借りて作ってきて、このプロセスを感じながら今後も推進していける新たな芽ができたのではないかと思います。皆さんからいただいたお言葉や、第一次計画や二次計画から皆さんと一緒にやってきているので、すでにやれていること、みなさんが意識、視点をもってやっていることがあります。一人でやると苦しいけど、だれかと一緒になってやると苦しさ半分で楽しさにかわる、みなさんの笑顔を見てやりがいを感じて、ということが続いていくのではないかな。今日皆さんが感じたこと、こんなことできそうだなとひらめいたことを、ぜひやったり、やれそうな人に声をかけたり、もちろん健康課にご相談いただいたりしてもらおうことで、広げていけるのではないかと思います。課題もたくさんありますし、計画は生き物だと言われているので、12 年間の間にもっともっとこれを育てていく、進化させていくことになります。マリーゴールドの花が咲くような形で、大口町は桜で有名ですが、もしかしたら 12 年後はマリーゴールドにあふれているかもしれません。そんな夢を描きながら、進めていければと思っていますので、引き続き 2 年間一緒に考えたり推進したりしながら、「健康で笑顔の大口ずっと元気みんな幸せ～支え合いつながるまちづくり～」になっていけばいいなと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。 次回ですが、2 月頃に第二回として推進の続きや新たな報告ができる会をもてればと思いますので、よろしくお願い致します。 以上を持ちまして、第 1 回大口町健康づくり推進協議会を終了いたします。長時間にわたりどうもありがとうございました。